

火災以外の煙で火災警報音が鳴ったときは

〈火災警報音を止めたとき〉

警報停止スイッチを押してください。警報音が止まります。

●火災警報音を5分間止めることができます。

※警報器周囲の煙が規定濃度以下になっていない場合は、5分後に再び火災警報を発します。5分後に再警報がでるスイッチを再度押すことで警報音を止めることができます。

※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。煙が規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び動作します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。



2 警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、警報音が鳴りやむ。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間燃えられている部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ない部屋に設置されている場合、ガスセンサーの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分（シリコンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス（エアコンの冷媒ガスなど））の作用により警報が鳴りやすくなる場合があります。また、炭火や暖房を使用していませんか。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなる場合があります。また、まれに鳴り続けることがあります。

〈ガス警報・CO警報〉

- スプレー式の殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけいませんか。
- 芳香剤、香油（アロマオイル）などの濃いガスが警報器にかかっていますか。
- 観音の煙が警報器にかかっていますか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フロンガスのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていますか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていますか。
- 可燃性のガスを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 放火や暖房を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋（業務用）で湯を沸かしていませんか。火点初時にCOの発生し、CO警報を発することがあります。

〈火災警報〉

- 漏気が直接かかっていますか。
- タバコ・焼き魚・焼香などの煙を警報器にかけていませんか。
- くん煙式、くん蒸式の殺虫剤が直接かかっていますか。

おねがい

ガスもれやCO発生だけでなく、空気の汚れなどにより、ガス警報ランプ(赤)・CO警報ランプ(黄)が点滅・点灯したり、警報音が発鳴場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器を外さなくても大丈夫です。

ランプ表示・警報音出力の事象一覧表

緑 (電源)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)	点灯/点滅 (火災警報)	音声内容	事象	対応方法
●	○	○	○	なし	通常動作（監視中）	—
●	○	○	○	なし	ガス注意報	P5参照
●	○	●	○	ガス警報音「ワーワーピッピッピッ」ガスがもれていませんか。	ガス警報	P5&参照
●	○	○	○	なし	CO注意報	P5参照
●	○	○	○	CO警報音「ワーワーピッピッ」煙、空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してください。	CO警報	P5&参照
●	○	○	○	なし	ガス注意報とCO注意報	P5参照
●	○	●	○	ガス警報音「ワーワーピッピッ」ガスがもれていませんか。	ガス警報とCO注意報	P5&参照
●	○	○	○	CO警報音「ワーワーピッピッ」煙、空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してください。	CO警報とガス注意報	P5&参照
●	○	●	○	ガス警報音「ワーワーピッピッ」煙、空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してください。	ガス警報とCO警報	P6参照
高速点滅	△	○	○	警報器本体（両側）に「10分ごと」「ピッピッピッ」（1分ごと）	故障警報（警報器が故障状態であることを検知し停止した状態）	販売店に連絡してください。
△	○	○	○	なし	有効期限切れ（警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態）	販売店に連絡してください。
●	○	○	●	火災警報音	火災警報とガス注意報	—
●	○	○	●	火災警報とガス警報	火災警報とガス警報	—
●	○	○	●	火災警報が作動しました	火災警報とCO注意報	—
●	○	○	●	2分後の音	火災警報とガス注意報とCO注意報	—
●	○	○	●	火災警報とガス警報	火災警報とガス警報とCO注意報	P4&参照
●	○	○	●	火災警報とCO警報	火災警報とCO警報	—
●	○	○	●	火災警報音「ワーワーピッピッ」火災です」	火災警報とガス注意報とCO警報	—
●	○	○	●	火災警報とガス警報とCO警報	火災警報とガス警報とCO警報	—

●：点灯、○：点滅、○：消灯、△：ゆっくり点滅

※故障したときは、上記以外の表示音声が発する場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。

お手入れのしかた

1 警報器を取り外す。（P.8参照）

2 警報器および取付部付近の天井面の汚れをふき取る。

布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。



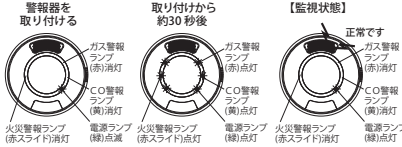
おねがい

●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。アルカリ性洗剤など使ったとき、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくガス警報ランプ（赤）が点滅したり、警報音が鳴ったりまじいことがあります。

3 警報器を取り付ける。（P.8参照）

●警報器の電源が入ります。電源ランプ（緑）が点滅し、約30秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って電源ランプ（緑）が点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。異常があれば「故障です」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。



＜過去10日以内に警報が作動した場合＞
電源を入れてから約30秒後ランプが全点灯した後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）

警報器の取り外し・取り付けかた

＜取り外しかた＞

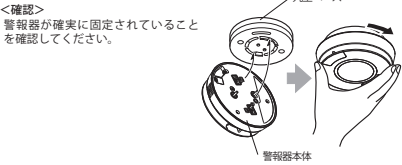
警報器を左（反時計回り）に回し、止まったところで警報器を下に引いて外してください。

《お断わり》

外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器を外すと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

＜取り付けかた＞

警報器本体を丸型ベースに合わせ、止まる位置まで反に回して固定してください。



噴霧式殺虫剤を使用するときは

噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

▲ 警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。警報器が作動しません。

外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器を丸型ベースから外さないでください。

外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

▲ 注意

ポリ袋の取り付け・取り外しは、高いところでの作業になりますので、しっかりと踏み台を使って、十分に注意して行ってください。転落、転倒、落下の原因になります。

警報器を左（反時計回り）に回さないでください。丸型ベースから外れて、落下する恐れがあります。

1. 警報器をポリ袋で覆う

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に次の処置をしてください。

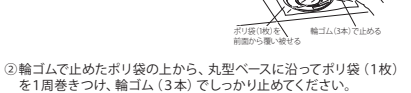
天井面の素材が粘着テープによって傷む恐れのあるとき

＜準備するもの＞

- ポリ袋（35cm×35cm・2枚）
- ポリプロピレン製（※または>PP<表示）
- ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- 輪ゴム（6本）

＜処置のしかた＞

①警報器の丸型ベースに、ポリ袋（1枚）を輪ゴム（3本）でしっかり止めてください。



②輪ゴムで止めたポリ袋の上から、丸型ベースに沿ってポリ袋（1枚）を1周巻きつけ、輪ゴム（3本）でしっかり止めてください。



天井面の素材が粘着テープによって傷む恐れのないとき

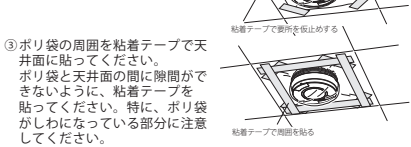
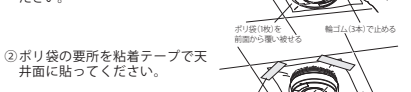
＜準備するもの＞

- ポリ袋（35cm×35cm・1枚）
- ポリプロピレン製（※または>PP<表示）
- ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- 粘着テープ

養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに天井面を傷めないテープを選んでください。

＜処置のしかた＞

①警報器の丸型ベースに、ポリ袋を輪ゴム（3本）でしっかり止めてください。



2. 噴霧式殺虫剤を噴霧する

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。
- 必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- 噴霧式殺虫剤は警報器の真下で使用したとき、警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋と天井面の間にすき間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。
- ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

3. ポリ袋を取り外す

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。

おねがい

粘着テープを外すときは、天井面などを傷めないように慎重に行ってください。



定期点検

日常点検

日常、警報器の電源ランプ（緑）が点灯していることを確認してください。

※電源ランプ（緑）が消灯もしくは、高速度点滅している場合は、販売店に連絡してください。 (P10「故障かな?と思ったら」を参照ください。)

定期点検

警報器が正常に動作していることを確認するために、警報停止スイッチによる試験を行ってください。

- ①警報停止スイッチを約1秒間押すと「ピッ」と鳴り電源ランプ（緑）が点滅します。
- ②「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離す。
- ③全ランプが1秒間点灯し、「正常です」が鳴り、終了します。 ※警報停止スイッチを約3秒以上押した場合、次項の「外部機器との連動確認機能について」の点検内容となりますので、ご注意ください。

外部機器との連動確認機能について

▲ 警告

●点検するときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。

▲ 注意

- 外部機器（マイコンモニター、集中監視器、インターホン等）が作動しますので、連動確認機能进行操作される場合はご注意ください。
- マイコンモニターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

＜連動確認の操作方法＞

- ①警報停止スイッチを約3秒間押すと、「ピッピッ」と開始音が鳴ります。
- ②警報停止スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。（外部出力信号が1分間出力されます。有電圧は12Vと18Vが交互に出力されます。火災警報時の信号も同時に出力します。）

動作	音声内容	ランプ				火災出力	有電圧出力 (12Vや18V)
		緑 (電源)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)	赤スライド (火災警報)		
1	「ワーワー火事です」	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
2	「ワーワーカンカン火災警報器が作動しました 確認してください」	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
3	「ワーワーピッピッピッピッ」ガスがもれていませんか」	点滅	消灯	点灯	消灯	ON	ON
4	「ワーワーピッピッピッピッ」 空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してください」	点滅	点灯	消灯	消灯	ON	ON
5	無音	点滅	点灯	点灯	点灯	ON	ON

③約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態（電源ランプ（緑）点灯）に戻ります。

※1分以内に終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと「ピー」と鳴り、終了します。

故障かな?と思ったら

こんなときは	どこを確認して	どう処置してください
●電源ランプ（緑）が常時点滅している。	警報器の丸型ベースにしっかりと貼られていますか。	丸型ベースにしっかりと貼られていますか。
●警報器が正常に動作していませんが、外部機器が鳴る。	電源ブレーカーが切れていませんか。	ブレーカーを入れてください。
●警報器が点滅している。	警報器の故障を確認してください。	警報器の故障を確認してください。
●警報器が点滅している。	原因を調べてください。(P.7参照)	原因を調べてください。(P.7参照)
●ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の異常が考えられます。
●ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。
●取り付けたときに、赤ランプや黄ランプが長く点灯する。	10日以内に警報を発していませんか。	10日以内に警報を発していませんか。
●電源ランプ（緑）がゆっくりに点滅している。	警報器の有効期限が切れていませんか。	警報器の有効期限が切れていませんか。

アフターサービスについて

■この警報器は、5年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく動作しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。ただし、保証書裏面の「5」の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。

■この警報器の有効期限は、ご使用開始後5年間です。有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定のガス濃度で警報器を点検しない誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。

■「リース契約書」もしくは「警報器登録票」に販売店（リース取扱店）の記入のない場合は保証内容が有効となる場合がありますので、お取り付け時に確認ください。

■アフターサービスについて、不明の点がありましたら、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

■警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

■作動点検をご希望の場合は、有償にて点検いたします。

■引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

登録

この警報器は、コンピューターに登録して管理させていただきます。登録は、取り付け時もしくは開栓時に、登録済みの警報器の有効期限ラベルには有効期限が記入されているので、ご確認ください。また、有効期限の記入のないラベルは未登録の場合がありますので、販売店（リース取扱店）または、最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。（保証書と有効期限ラベルの期日が異なる場合は、有効期限ラベルの期日が、その警報器の有効期限となります。）

有効期限の約1ヶ月前に、登録されているものについては、当社よりお知らせします。有効期限を過ぎた場合は、新しいものとお取り替えください。

廃棄について

＜リース契約の警報器の廃棄＞

有効期限が切れた警報器は、販売店（リース取扱店）にて回収いたします。

＜お買い上げいただいた警報器の廃棄＞

お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。

仕様

項目	仕様
種別	光電式(住宅用防災警報器)
型式番号	住警番30～6号
検知原理	検知方式(光電式)
感知性能	2種
外部出力信号	警報時 a 接点 ON 無電圧 接点容量 (DC24V, 0.1A) 無極性
住宅用防災警報器 検定合格品	
対象ガス	都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス用） 燃焼排ガス中のCO
検知方式	半導体式
動作条件	ガス警報速度以下の都市ガスに対し注意報
表示・発報方式	ガス警報ランプ（赤）点滅 警報音無し
ガス市販	※爆発下限速度の1／4の都市ガスに対し6.0秒以内に警報
表示・発報方式	ガス警報ランプ（赤）点滅 音声合成警報音
動作条件	3.00ppmのCOに対し 5分以内に注意報
表示・発報方式	CO警報ランプ（黄）点滅 警報音無し
動作条件	5.0ppmのCOに対し 5分以内に警報
表示・発報方式	3.00ppmのCOに対し 1.0分以内に警報 CO警報ランプ（黄）点灯または点滅
外部出力信号	有電圧出力 3段階有電圧 2線式 監視時 DC12V 警報時 DC12V、CO警報時 DC18V
一般財団法人日本ガス機器検査協会（JIGA）都市ガス用ガス警報器検査規格 認定合格品	
電圧	7.0dB (A) / m以上
消費電力	監視時 約0.5W、警報時 約1.2W
消費電力	監視時 約0.5W、警報時 約1.2W
使用温度範囲	0℃～40℃（結露しないこと）
寸法・質量	直径120×高さ34.5mm（突起部を除く） 約170g
取付方法	丸型ベース（別売品） 回転引掛式
付属品	取扱説明書（保証書付）（本書）×1、リールシール×1

※爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界と呼び、最もマイコンモニターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。

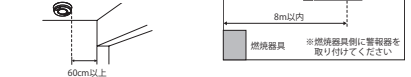
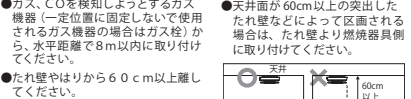
取付位置の確認

▲ 注意

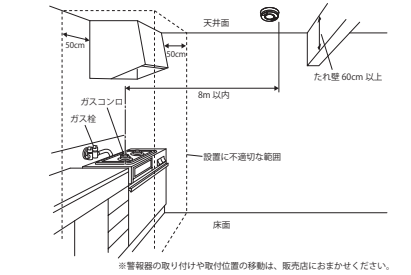
正しい取付位置に取り付けられていることを確認してください。取り付けたい場所に取り付けられていると、警報の遅れ、誤報、故障の原因とならないです。

＜正しい取付場所について＞

- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスとCOが清浄しやすい位置で、電源ランプ（緑）を確認しやすい位置で、点検が容易なできる場所へ取り付けください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器を一定位置に固定しないで用いられるガス機器の場合はガス栓）から、水平距離で8m以内に取付けてください。
- 天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取付けてください。



取付例



※警報器の取り付けや取付位置の移動は、販売店におまかせください。

＜取り付けたい場所について＞

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けてください。

- キッチン内やレンジフード本体への取り付け。アルコール等で警報することがあります。
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すき間風の入る場所。
- 30cm以上（警報器高）のたれ壁などの。



- たれ壁 60cm以上で区切られている場所。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。警報が遅れたり、検知できないことがあります。



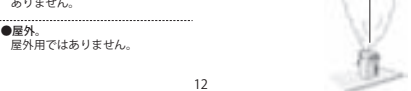
- 燃焼器具などの排気、漏気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。センサー寿命が短くなった、誤作動の原因になります。



- 浴室、水のかかる場所、水滴がつく場所。感電や電氣的故障の原因になります。



- 照明器具の近く。（可能な限り離す）



- 業務用・工業用。家庭用です。業務用・工業用ではありません。
- 屋外。屋外用ではありません。

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになった後は、器具栓だけでなくガス栓必ず閉めてください。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製♡マーク入りのものをお使いください。そして、ガス栓についている赤線のところまで深くさし込み、必ずゴム管止めでとめてください。
- お使いにならないガス栓にはゴムキャップをはめてください。
- 古くなったゴム管はお取り替えください。

ガスもれ、CO発生の通報は…

大阪警報部	550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37	＜行くよ24時間＞	0120 (0)19424
南部警報部	590-0973 堺市堺区住吉南2-2-19	0120 (3)19424	
北東部警報部	578-8502 東大阪市福重2-3-17	0120 (5)19424	
兵庫警報部	650-0046 神戸市中央区港島中町4-5-3	0120 (7)19424	
京滋警報部	600-8815 京都市下京区中書島田町93	0120 (8)19424	

大阪ガスのお問い合わせ先

■リビング事業部 大阪事務所	0120 (0)94817
〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37	
■リビング事業部 南部事務所	0120 (3)94817
〒590-0973 堺市堺区住吉南2-2-19	
■リビング事業部 北部事務所	0120 (5)94817
〒569-8569 堺市堺区北の島町39-6	
■リビング事業部 兵庫事務所	0120 (7)94817
〒650-0044 神戸市中央区東三ツ山7丁目8-2	
■リビング事業部 京都事務所	0120 (8)94817
〒600-8815 京都市下京区中堂寺町南9丁目	
○ F A X によるお問い合わせ	
■550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37	0120 (6)94817

5-4 外部機器への連動接続

■外部機器との連動対応表

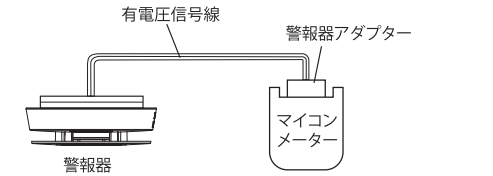
		上段	○:連動可能、×:連動不可能		
		下段	警報器が鳴り始めてから、各機器が動作するまでの遅延時間です。遅延時間は外部機器によって異なります。		
警報器の種類 外部出力信号	警報時の動作	火災警報 無電圧3接点ON	ガス警報 DC12V	CO警報 DC18V	備考
外部機器 外部出力端子	火災警報 外部出力信号線 (赤・赤)	ガス警報、CO警報 外部出力コネクター (白・灰)			
みるびこ・大阪ガスセキュリティ・パートナータイプA7ilis・タイプ	監視センターへ自動通報する※1	○	○	○	遠隔にてガス遮断
マイコンメーター	ガスを止める	×※2	○※3	○※3	
戸外ブザー (001-0011)	警報音が鳴る	×	○	○	ガス警報、CO警報用
リモートマイコンシステム (業務用)	ガスを止める	×	○	○	他の安全システムへの中継機能
業務用連動遮断システム	ガスを止める	×	○	○	
ホームモニター	機種により異なりますので、各ホームモニターメーカーにお問い合わせください。	×	○	○	
集中監視盤	機種により異なりますので、各集中監視盤メーカーにお問い合わせください。	×	○	○	※4
フラッシュアラーム	機種により異なりますので、各フラッシュアラームメーカーにお問い合わせください。	×	○	○	

- ※1 必要な場合は、遠隔操作でガスを遮断し、大阪ガスあるいはOSS (大阪ガセセキュリティサービスの係員が出勤し、緊急対応します。
- ※2 お客様の希望により、火災警報時にマイコンメーター連動遮断させる場合は、大阪ガスにお問い合わせください。
- ※3 別途、警報器アダプター (101-0060) が必要です。(別売品)
- ※4 本警報器は消防法上の火災警報設備の検知器として使用できません。
- ホームモニター・集中監視盤・フラッシュアラームに関する内容は、各メーカーにお問い合わせください。
- 上記表内外の外部機器に関する内容は、大阪ガスにお問い合わせください。

<ご注意>

- ガス警報、CO警報出力は有電圧出力ですので、外部機器と連動する場合は極性に注意してください。
- 複数の外部機器を連動する場合は、大阪ガスへご相談ください。
- 外部機器は専用品をお使いください。(ホームモニター・集中監視盤・フラッシュアラームを除く)

マイコンメーターとの連動の方法

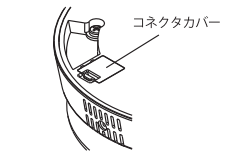


■火災警報信号の引き出し方法

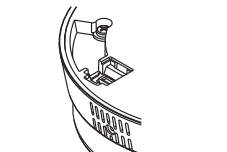
<準備するもの>

接続用リード線 別売品型式: (4)101-0063	外部出力 信号	リード線 No.	リード線の色 (極性)
2-灰 3-赤 接続用リード線	無電圧接点 出力	2-3	赤 赤

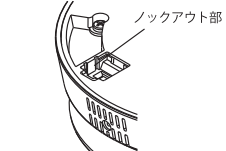
- ①コネクターカバーを外してください。



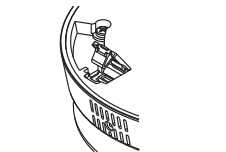
- ③接続用リード線を本体のコネクターへしっかり差し込んでください。



- ②ノックアウト部をニッパーなどを使用して切り取ってください。



- ④接続用リード線を引き出してから、コネクターカバーを取り付けてください。

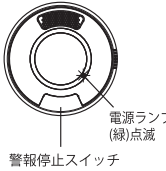


■外部機器と連動する場合の注意点

- 下記の場合は、外部機器の取扱説明書ならびに取付説明書に基づいて連動点検を必ず実施し、外部機器が正常に動作することを確認してください。
- ①新たに警報器を外部機器と連動する場合。
 - ②警報器を交換する場合。
 - ③外部機器を取り付け・交換する場合。
 - ④配線を修理・交換する場合。
- 実施しなかった場合、外部機器が正常に動作しない恐れがあります。
- 警報器の外部出力が必要な場合は、次項の「外部機器との連動点検」または、「6-2 作動点検」に基づいて行ってください。
- 集中監視室またはインターホンなどと連動した場合、CO警報時でも集中監視室またはインターホン側は、ガス警報を発する場合があります。

外部機器との連動点検

- ①警報停止スイッチを約3秒間押すと、「ビッピ」を開始音が鳴ります。(電源ランプ(緑)が点滅を開始)
- その後警報停止スイッチを離すと外部出力信号が1分間出力されます。(有電圧は12Vと18Vが交互に出力されます。火災警報時の信号も同時に出力します。)



- ②以下の動作を行います。

動作 順	音声内容	ランプ				火災 出力	有電圧 出力 (12V⇔18)
		緑 (電源)	黄 (CO 警報)	赤 (ガス 警報)	赤スライド (火災 警報)		
1	ウーウー カンカンカン 火事です 火事です	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
2	ウーウー カンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
3	ウーウー ビッピッピッピ ガスがもれていませんか	点滅	消灯	点灯	消灯	ON	ON
4	ウーウー ビッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	点滅	点灯	消灯	消灯	ON	ON
5	無音	点滅	点灯	点灯	点灯	ON	ON

(注) 上記の動作は連動点検用で、警報時の動作とは異なります。警報時の動作は取扱説明書を参照してください。

- ③約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態(電源ランプ(緑)点灯)に戻ります。

<1分以内に点検を終えたいとき>

上記の動作中に警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、終了します。

6 取り付け後の確認・点検

この警報器は、通電開始後の約30秒間でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する自動初期点検機能を有しています。製造から取付までが1年以内の警報器(警報器の製造番号シールに記載の製造年月から取付年月までが1年後の同月まで)で以下の条件を満たす場合は、「6-2 作動点検」は不要です。「6-1 自動初期点検機能の確認」のみを行ってください。

ただし、お客さまから要望があった場合は、「6-2 作動点検」を行ってください。

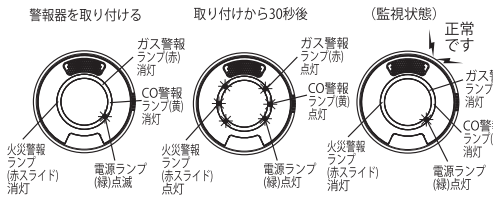
- 新規取付時 (未入居の新築住宅を含む)
- 更新時

以下の場合には、「6-2 作動点検」が必要です。「6-1 自動初期点検機能の確認」の後に「6-2 作動点検」を行ってください。

●製造から取付までが1年を超えた警報器

6-1 自動初期点検機能の確認

- ①警報器本体を丸型ベースからいったん取り外す。
- ②警報器本体を丸型ベースに取り付ける。(電源投入)
- 電源ランプ(緑)が点滅し、約30秒後にランプが全点灯した後、正常であれば、「正常です」と鳴って電源ランプ(緑)が点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
- 万一、異常があれば、「故障です」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。
- ※ガス警報ランプ(赤)が点滅することがありますが、しばらくすると消灯します。



- 電源ランプ(緑)が点滅中は作動点検を実施しないでください。

6-2 作動点検

おねがい

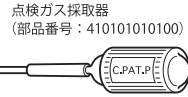
この警報器は作動点検をスムーズに行うため、監視状態に移行後3分30秒間(電源プラグをコンセントに差し込んでから4分間)に限り、採取ガスに対して反応しやすい状態が保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。ただし、通電開始後の電源ランプ(緑)が点滅している間(30秒間)は、ガスをかけてもセンサが反応せず、警報を発しないため、作動点検を行わないでください。上記時間を過ぎると、採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は警報器をいったん取り外し、再度警報器を取り付けてから行ってください。

また、上記時間内であっても一度作動点検を行うと採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されますので、ご注意ください。

通電開始後の電源ランプ(緑)が点滅している間や点灯に変わる際に火災警報機能の点検を行った場合、約30秒経過しても「正常です」が鳴らず、点検ガスに対して反応しやすい状態に移行しない場合があります。

<準備するもの>

- 点検ガス採取器 (別売品)
- ガスライター
- 上記2点または、
- 火災・CO・ガスもれ警報点検治具 (別売品: T10-11)



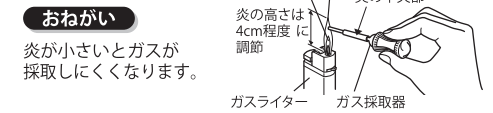
△ 注意

アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス(生ガス)は、使用しないでください。

センサ異常またはセンサ故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかることがあります。

<点検ガス採取器を用いて点検する場合>

- ①ガスライターを点火し、炎の高さを約4cmに調整する。

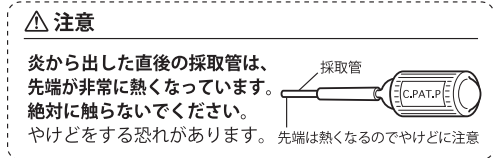


- ②点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎の外炎の中央部へ持っていく。
- ③容器の圧縮をゆっくり(約3秒程度)ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引する。

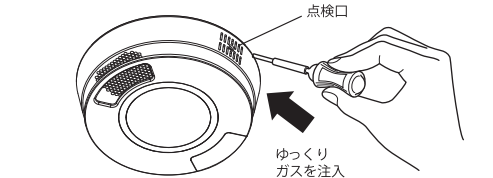
おねがい

長時間加熱すると、ガス採取器が破損することがありますので注意してください。

- ④点検ガスの採取が終わったら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスライターの炎を消す。



- ⑤採取管の先端部分の温度が下がるまで(約30秒程度)待つ。
- ⑥採取管の先端部分を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程度)注入する。

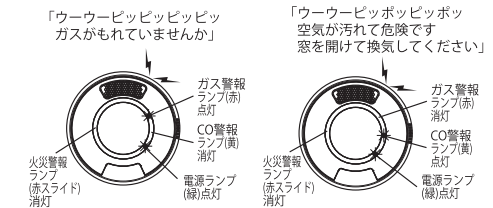


△ 警告

採取したガスは、警報器の点検以外には使用しないでください。

直接吸引するとCO中毒を起こす恐れがあります。

- ②ガス警報ランプ(赤)が点灯し、ガス警報音「ウーウー ビッピッピッピッ」ガスがもれていませんか」が鳴り、CO警報ランプ(黄)が点灯し、CO警報音「ウーウー ビッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」が鳴ります。
- 吹き掛けのタイミングにより、ガス警報とCO警報の順番が逆になったり、交互に鳴る場合があります。



- ⑤ガスがなくなると、ガス警報ランプ(赤)とCO警報ランプ(黄)が消灯します。

※電源を入れてから4分間は、有電圧出力が一度出力されると、ガスがなくなり監視状態に戻っても出力が保持されます。この間に警報停止スイッチを押しても出力は解除されません。電源投入から4分間が経過しますと通常の状態に戻ります。

火災警報外部出力に保持機能はありません。また外部機器の作動を解除するときは、いったん警報器を取り外してください。

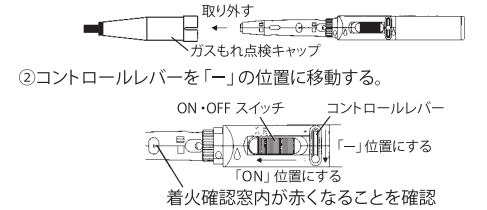
おねがい

警報音が鳴りやまない場合は、いったん警報器を取り外し、再度再度警報器を取り付けて「6-1 自動初期点検機能の確認」を行ってください。

<火災・CO・ガスもれ警報点検治具を用いて点検する場合>

ガス警報機能とCO警報機能の同時点検

- ①ガスもれ点検キャップを本体から取り外す。



- ②コントロールレバーを「-」の位置に移動する。

- ③ON・OFFスイッチを前方にゆっくり押し上げ「ON」の位置に移動する。
- ※着火確認窓より着火の確認をしてください。着火すると着火確認窓内が赤くなります。
- (もし着火しなかった場合は、もう一度上記の操作を行ってください。)
- ※カチッと言音するまでしっかりと押し上げてください。

- ④本体の先端を警報器のガス検知部付近に近づけ、約2秒程度ガスを吹きかける。
- ※10秒以上ガスを吹きかけないでください。
- 本体および警報器を破壊・損傷する恐れがあります。



△ 警告

点検治具より吹き出されるガスは、警報器の点検以外には使用しないでください。

直接吸引するとCO中毒を起こす恐れがあります。

△ 注意

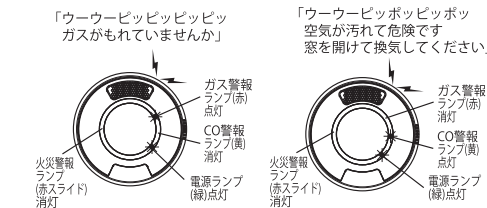
着火使用時には先端の樹脂部分は熱くなっています。

絶対に触らないでください。

やけどをする恐れがあります。

- ⑤ON・OFFスイッチを離す。

- ※ガスが止まっていることを確認してください。
- ⑥ガス警報ランプ(赤)が点灯し、ガス警報音「ウーウー ビッピッピッピッ」ガスがもれていませんか」が鳴り、CO警報ランプ(黄)が点灯し、CO警報音「ウーウー ビッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」が鳴ります。
- 吹き掛けのタイミングにより、ガス警報とCO警報の順番が逆になったり、交互に鳴る場合があります。



- ⑦ガスがなくなると、ガス警報ランプ(赤)とCO警報ランプ(黄)が消灯します。

※電源を入れてから4分間は、有電圧出力が一度出力されると、ガスがなくなり監視状態に戻っても出力が保持されます。この間に警報停止スイッチを押しても出力は解除されません。電源投入から4分間が経過しますと通常の状態に戻ります。

火災警報外部出力に保持機能はありません。また外部機器の作動を解除するときは、いったん警報器を取り外してください。

おねがい

警報音が鳴りやまない場合は、いったん警報器を取り外し、再度再度警報器を取り付けて「6-1 自動初期点検機能の確認」を行ってください。